

Q. 町長との対話集会は

A. 参加しやすい制度に見直す



おかじまさのぶ
岡島政信 議員

OKAJIMA Masanobu

12月定例会

質疑あれこれ

討論・審議結果

一般質問

懲罰特別委員会

追跡

トピックス

私は一人とのつながりを大切に」をスローガンに、現在に至っている。自分ひとりでの活動には限界があり、多くの方の力を借りながら、目標を達成していくことの大切さが身にしみている。

今年度、豊山町第5次総合計画がスタートし、併せて様々な計画もスタートした。これらは職員の力の結集なくして展開できない。その結果のバロメーターのひとつに、町民の皆さんからの声がある。今回、住民からの意見・声の収集について質問する。

Q 町民の方からの意見は平成26年度から現在まで何件か。

総務部長

A 町民の声は、町政運営や行政サービスに対する町民の皆さまの意見などをお聞きすることを目的とし、平成15年度から「町長への意見箱」を設置し、実施している。

毎年40件前後の意見をいただき、平成26年から令和2年



▲皆さまの声を町政へ

11月末までにいただいた意見は、合計273件である。

いただいた意見の中で最も多かった分野は、総合計画など町政全般に関するもので106件。公共施設の利用や改善に関するものが42件。福祉・医療に関するものが35件などとなっている。

寄せていただいた意見は、制度や業務の改善、行政サービスの向上につながる可能性がある貴重な機会であると考えている。

Q 町長との対話集会は平成26年度から現在まで何回か。

総務部長

A 町長との対話集会は、町民の皆さまから町政やまちづくりに対する意見や提案を、町長自身が直接お聞きし、町政運営に活かすことを目的に、平成17年度から実施している。

平成26年度から令和2年11月末までに開催した対話集会は21回で、その内容は町政全般にわたっている。年度ごとの開催回数は表のとおりである。

町長との対話集会	
平成26年度	9回
平成27年度	4回
平成28年度	3回
平成29年度	4回
平成30年度	0回
令和元年度	1回
合計	21回

対話集会は、町民の皆さまとの相互理解を深める貴重な場と考えている。平成30年度以降、件数が減少しており、町民の皆さまが利用しやすい制度へ見直しを考えている。



Q 鈴木町長は、対話集会にどの様な考えをもっているか。

町長

A 私はこの度の選挙を通じて、大勢の方々とお会いし、様々な意見をいただく貴重な体験をした。

今後は、まず各地区へ出向き、地元の皆さまとの意見交換会を実施したいと考えている。

また、町民の声や対話集会は、引き続き実施していく。対話集会については、グループ人数を変更し、より町民の皆さまが参加しやすい制度にしていきたい。